

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「愛」があふれる教育の推進
～ 基本的生活習慣の確立・基礎学力の向上 ～

＜本年度の学力向上策＞

①安心して学習に取り組める環境整備

- ・「聞き方」「話し方」等の基本的な学習のルールを定め、徹底する。
- ・「よい授業」因子④「児童生徒の活動」の5つの項目を徹底する。
- ・全学年、全算数の学習の時間で少人数指導を実施し、きめ細やかな指導を推進する。

【先生や友達の話聞ける児童90%以上】

【学校のきまり(規則)を守る児童90%以上】

【間違えたり分からなかったりしても恥ずかしくない児童90%以上】

②「学習のプロセスを意識した授業」を通じた学力の定着

- ・授業の導入で、めあてや課題を明確に設定し板書(掲示)する。
- ・公式や話型・文型等、基本となる内容を繰り返し丁寧に指導し、定着を図る。
- ・1時間、1単元の途中や終了後に学習を振り返り、メタ認知能力の向上を図る。

【授業のめあてや目標を明確に示している100%】

【基本的な内容に何度も取り組む時間がある90%以上】

【授業の途中や最後に学習を振り返る時間がある90%以上】

③「見る力」「読む力」「聞く力」等の向上に向けた校内研修の充実

- ・問題の読み飛ばしや読み間違いの改善のため、「見る力」「読む力」「聞く力」について専門家の指導・助言も受けながら研修を推進する。

＜本年度の振り返り＞

【平成30年度版】 さいたま市立馬宮西学校

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

- (1) 基礎基本の徹底と学力向上
 - 基礎的・基本的な事項の習得等
 - 家庭との連携による学習習慣の確立
- (2) 個に応じたきめ細やかな指導の充実
 - 少人数指導の充実
 - 朝学習の充実
- (3) 校内研修を通じた指導力の向上
 - 基礎学力向上・小中一貫教育の推進
 - 図画工作科を基盤とした指導方法の工夫・改善

<本年度の学力向上策>

- ①「アクティブ・ラーニングの視点による授業改善」「効果的な少人数指導」を通じた児童の学習に対する不安の解消
 - ・「よい授業」因子④アクティブ・ラーニングの5つの項目を徹底する。
 - ・全学年、全算数の学習の時間で少人数指導を実施し、きめ細やかな指導を推進する。
- ②「身につけさせたい力を明確にした授業展開」「職員間の情報共有の工夫」を通じた教科指導の充実
 - ・馬西スタンダードを柱にした、1時間・1単元の学習課題が明確な授業展開を徹底する。
 - ・単学級のため学年会が存在しないが、「学級事務」の時間にブロックでの話し合いを積極的に行い、教材研究の充実を図る。
- ③「学習のプロセスを意識した授業」「家庭学習の充実」を通じた学力の定着
 - ・明確な課題の設定とともに、「その課題のために何を学習することが必要か」「今行っている学習は課題に迫るためのどの段階か」「何ができるようになったか」など、学習過程を重視する。
 - ・「家庭生活チェックシート」で家庭生活のふり返しを行い、よりよい学習習慣の定着を図る。
- ④学力向上推進に向けた研修等の充実
 - ・教科等部会や研修（学力向上）の充実を図り、授業の流れ、板書の仕方、朝学習の内容などの共通理解・改善を図る。

<本年度の振り返り>

- 教師一人ひとりが因子④アクティブ・ラーニングの5つの項目を意識して授業改善を図ることで、主体的に授業に臨む児童が増えた。
 - 少人数指導を多く実施することで、児童一人ひとりの実態に合った指導・支援を推進することができた。
 - 学習過程を重視することで着実に学習内容を身につけることができた児童が増えた。
 - △問題の読み飛ばしや読み間違いによる誤答が各学年一定数ある。
 - △基礎的・基本的な内容の定着に課題がある。
- 以上のような実態から、来年度も引き続き「基礎学力の向上」に焦点化して取組を続けていく。具体的には、①「見る・読む力」の向上を図る②読解力の向上を図るための取組を重点に、推進していく。